

常 常 每 日
新聞

競輪

通産大臣の諮問機関である競輪運営委員会はこのほど競輪の場外発売は完全な賭博場を構成するため施出しなければならないといふ答申案を打ち出し大臣に真申し、競輪法の一部改正を要請することになったが、場外発売で金利上げの競輪場の運営は不可能となるばかりか市財政を蝕むさせるものであるとして全国的に反対、同じ条件にある静岡県伊東市と連絡して二十四日東京で開かれる全国競輪主催地長会で、答申案に反対する決議案を提出するひきなつたが今後どのように進展するか、市財政と直結する問題が注目される。

売上げの七割占める

開催地の議長会で反対提案

諸問題は競輪かい駆者を中心とした通運省、主催者代表、取締者等が構成されているものが、このほど議長会に出席したところ競輪場は競輪場での車券販売は競技をみて満足する一歩のスポーツであるが場外発売になるとじままでの成績表と相應の当り裏切られたよりにして和じゆんだけを考えるため完全など博打をして競輪場を守らなければならぬ。これは單純に勝手よくやめさせたいのところが競輪場の場合品目の売上げ四億六千六百六十万九百円(昨年四月から今年三月まで)のうち購入は競輪場の四分の一億五千万九千九百円で、これに効く場外発

売上げの七割占める

八万九百円が銀閣寺の七千円十三万七千三百円、次いで福島の五千五百十萬五千四百円、最後に平の三千七百四十八万五千九百円の合計三億九千九百九十五円と十六バーセントを占めており、もし答申案が通過するようになれば平競輪場は閉鎖される以外ではなく、この総額三千万円(年間)であるおついた市財政は窮屈うどん心配した競輪委員の石田・沼田

提訴、競争して通産大臣と真申すことに決めた。なお場外発

売を特許競輪場は六ヶ競輪場

のうち半分十二ヶ競輪場しかな

いので主催地費負担までに事

工作を行つて決議する方向へもつて行く方針である。

石山議員の話 平競輪が

場外発売を失つことは運営が不可

能になるばかりか競輪であるお

つては伊東市と共に反対を説いて

いるが伊東市と並んで反対を説いて

いるが

